

中國
旅游

中国

世界遺產

秦の始皇帝兵馬俑





秦の始皇帝兵馬俑 世界文化遺産

秦の始皇帝兵馬俑は、陝西省西安市臨潼区、秦の始皇帝陵墓の東に約1.5km離れた3つの俑坑にあり、1974年に農民が井戸を掘った時偶然発見されたのだ。3つの俑坑は品の字の形で並んでおり、総面積は2万㎡に上った。すでに木製の戦車を20乗、本物大の陶俑、陶馬を千点、各種の青銅製の兵器を万点以上出土した。明らかにされた情報によると、3つの俑坑には、計百乗余りの戦車、600体の陶馬、7000余りの陶俑と万点以上の実用兵器を出土し、数量にしろ、質量と考古的発見にしろ、世界では希に見るものであり、紀元前2世紀の秦代の軍事、政治、文化、科学と芸術に対する研究には、極めて貴重な実物史料を提供した。特に彫塑において、秦の兵馬俑は現実生活をモチーフに彫塑したもので、芸術手法が精緻かつ明快で、手の仕草、顔の表情には、鮮明な個性と強烈な時代特徴を持ち、泥彫塑芸術の最盛期を表し、中華民族の燦爛たる古代文化に異彩を添え、世界芸術史にも輝かしい1ページを補充した。エジプトのピラミットとギリシアの古代彫塑に比敵でき、世界人類文化の貴重な遺産であり、「世界第八の奇跡」と称えられ、それで『世界文化遺産リスト』にランクされた。



兵馬俑一号坑の大門

一号俑坑

総面積は14260㎡。木製の戦車を8両、陶馬を32匹、各種の武士を1087点、夥しい青銅器及び鉄器を出土した。全面的発掘をしてから、計6000体の兵馬俑と40両以上の戦車を出土する見込みだ。俑坑の東端に210体の実物大で、生き生きと真に迫る陶製武士俑があり、それぞれ顔の表情、服飾、髪型は違っており、毎列70人の3列に並べられ、うち3人の指揮者が鎧を着る他、皆短い服を着、足にゲートルを巻き、腰に帯びを縛り、頭に髪を束ね、箠を体にし、石弓を手に持ち、待命する先鋒部隊と推測している。その後6000体の鎧を着る俑からなる主体部隊で、それぞれの武士は長さ3mの長槍、矛、鉞などの兵器を手に持ち、4匹の馬に牽かれる35両の戦車に乗り、11本の東西に走る巷を隔てて38列に並べられている。南北両側と両端に、それぞれ一列の護衛武士俑が立てられ、両側と後からの襲撃を防ぐように備える。この整った陣容と装備を持つ兵隊は意気盛んで、秦の始皇帝の威風堂々たる軍隊の再現で、強烈な芸術的感染力を持っている。

二号俑坑

一号俑坑の東端北側にあり、平面はやや曲尺状を呈し、面積は6000㎡。すでに出土した木製の戦車が11両、陶製御者が28体、将軍俑が1体、戦車を牽く陶馬が67匹、騎兵俑が32体、鞍馬が29匹、歩兵俑が163体、金属兵器を含む他の文物は計1929点で、全面的発掘をしてから、木製の戦車を89両、陶製車掌を261体、戦車を牽く馬を356匹、騎馬俑を116体、鞍馬を116匹、歩兵俑を562体と夥しい金属兵器を出土する見込みだ。二号俑坑の軍陣は、石弓陣、戦車陣、戦車、歩兵、騎兵を組合わせた長方阵、騎兵陣の4つに分けられている。4つの軍陣は大

きい曲尺状の軍陣をつくった。作戦の時、地形などによって円滑に分離、合成したりして理想的な作戦効果を収められる。

三号俑坑

面積520㎡の一号俑坑の西端北側にあり、平面は「凹」の字の形を呈する。4匹の馬に牽かれ、漆塗りの戦車を1両、陶製の武士俑を68体、陶製の馬を4匹出土した。出土した戦車のレベルが高く、漆で彩りの画を描き、車上に絹傘を覆い、すべての乗員は冠を被った。南北の脇部屋にある64体の武士俑は壁に沿って、2人ずつ向い合って銅製の鉞を持ち、護衛の鉞持ち儀仗隊に並べられ、中国では出土した最も早い時期の大型鉞持ち護衛儀仗隊であった。3号坑の整体構造を言うと、軍隊の統帥機構と推測される。三号坑は一号、二号坑の後ろに置かれるから、その重要性を示した。

秦俑群像

「俑」とは、西周時代の文献に記された泥や木などの材料で作った人間の彫塑像で、殉死の道具だった。こいう葬式は殷・周初期の人間殉死に替って、春秋戦国時代の葬式に普遍に採られていた。秦の俑は秦代の兵隊を模倣して、鎧や戦服を纏い、手に実物の武器を持つ。同時に、陶製の実物大の馬及び4匹の馬に牽かれた木製の戦車を装備している。身長1.75~1.96mの俑は、顔の表情がそれぞれ違い、彩色の絵画が施されていた。火災に見舞われたが、依然としてその痕跡が覗かれている。種類から言うと、秦の俑には歩兵、乗車兵と騎兵の3種類がある。職務から言うと、将軍俑、武官俑、武士俑がある。俑の服飾と兵器装備は、職務と種類によって差異がある。秦の俑は、体が逞しく、表情がおのおので強い芸術的感染力を持っている。

一号俑坑



秦の武士俑

鮮明な個性とおのおのの表情がある。広い額、高いかんこつ、濃い眉と大きい目のある長方形の顔つきで、髭が開き、意志が強く勇敢に見える。ある武士俑は顔が丸く脹れ、顔つきが端正で、気が大きく朗らかな性格を持つ。あるものは、楕円形の顔で、目つきが清楚で雅やかに見える。方形の顔つきで、素朴で率直な性格を持つ俑もあれば、突き出した眉があり、目つきが炯炯とかがやく、並ならぬ勇気を持つものもある。剣の形の眉と丸い目がある、髭が反り返っておりカンカント怒る俑もあれば、清楚な顔つきできれいな髭がある機敏なものもある。普通、額に皺がある武士俑は、表情が厳粛で、拳止が慎重で苦勞嘗め尽くした中年武士で、顔が丸く笑い目があるのは若い武士である。

鎧武士俑

髪を髷に束ねたり、円形の軟帽子をかぶり、長い戦服に鎧を纏い、すね当てをするか足ゲートルを巻き、方形靴を履き、手に兵器を持っている。

戦服武士俑

頭の右上方で髪を髷に束ねる。体に右襟の短い服を着、足にゲートルを巻き、方形の開き口と爪先が揃う靴を履き、手に兵器を持っている。

跪射武士俑

頭の右上方で髪を髷に束ね、真っ赤な帯で縛る。鎧をかぶる。右膝と右足が地面につき、左膝は跪く。方形の開き口と爪



跪いた武士俑



青銅製車馬

先が揃い、底にきちんとした点状縄文のある靴底が露出される。両手は体の右側で上下に弓を持つ。遺跡から見ると、弓は右肩に背負い、手に弦を持っている。

立射武士俑

髪の毛を束ねて、頭の右上方で髷にする。戦服を纏い、すね当てをし、皮靴を履く。左足がやや左前方に伸び、右足が後に下げて、両足が「丁」の字の形にして立つ。体が左に向き、右腕が胸前に曲がり、左腕がやや前の下に置く。両目は左前方に向き、弓を挙げて、敵の進攻に狙う姿勢をとる。

御者

頭の右側に髷を作り、白い円形の軟帽子に長冠をかぶる。首に方形襟を巻き、長い戦服を着、外に鎧をかぶる。肩に腕までの肩力カバーがあり、手の甲にも保護カバーがあり、足に方形開き先が尖る靴を履き、すね当てを付けている。両腕は前に平に伸び、手はやや握り、たづなを持つようにする。親



指の内側に半円形の陶製リングがあり、たづなを執る時の保護環だ。

乗車武士

頭に白い円形軟帽子をかぶり、長い戦服に鎧を纏い、足にゲートルを巻き、方形開き口と爪先揃うの靴を履く。ある武士俑は左足が斜めに前方に伸び、「休め」の姿勢をとり、右腕が前に曲がり、長い兵器を手に持つようにし、左手が椀木を押えるようにする。もう一種の武士俑は、頭に冠をかぶり、長い戦服に鎧を纏い、すね当てを付け、手に長い兵器を持っている。

騎兵俑

3点1組の赤い幾何的模様が描かれた円形軟帽子(今の回族の帽子に似る)を頭にかぶる。頭巾の後の真真中に白い桃形の模様飾られ、両側の房飾りが下あごで縛る。腰を縛る短い服を纏い、外に腰までの鎧をかぶるが、腕カバーを付けなく、袖がやや細い。ぴったりしたすね当てを付け、足に皮靴を履く。締め付けるような冠と服は、騎馬に用意している。

将軍俑

大きく逞しい体に二重の長い戦服を着、外に彩色の鱗鎧を纏い、足に先の尖った靴を履き、頭に冠を被り、服飾が華やかで、意気高揚する。ある将軍俑は、顔つきが端正で、長い髭を生やし、穏やかな感じをする。右手の親指と人差指と合わせて、百万の兵隊を指揮し、胸に勝算がある将軍の姿。頬にべったりと髭を生える長方形の顔つきで、威武な将軍俑は、両手で剣を仕え、頭を挙げて威風凛々と立っている。軍隊の前進を指揮し、戦場を馳せ回す将軍の雄姿である。ある俑の大きい顔と皺がよせる額には、百戦を経た将軍の閱歴が覗える。

中級軍吏俑

体に長服を纏い、外に彩色の縁取りの前胸鎧が縁揃い鎧をかぶり、頭に長冠を被る。それぞれの服飾から地位の高低が分かるばかりではなく、その姿勢と気概から尊卑を理解することもできる。あるものは、将軍俑の傍に立ち、顔つきが厳肅で謹み、将軍の助手だと分かる。あるものは、体が大きく逞しく、表情が厳肅で、三滴水式の髭と顰めた眉は、意志が強く自信が高いことを示している。左手が剣を握る俑は、右手に槌を持ち、軍令を待っているようだ。

下級軍吏俑

数多くあり、比較典型的な2体の下級軍吏俑は一号坑東端の先鋒部隊にある。1体は先鋒部隊の左側列の末にあり、身長1.97mで、肩が広く、腰が太い。体に鎧をかぶり、頭に長冠を被り、左手に宝剣を持ち、右手は鉞、矛などの長い兵器を持つような姿勢をとり、威風凛々と立っている。しっかりと閉じた唇、じっと見つめる目つきは、鉄の如き強い意志を表した。その厳肅で謹む顔つきは、正に彼の身分に似合う。先鋒部隊の右

側列の始めに、1体の下級軍吏俑がある。頭に長冠をかぶり、鎧を付けない俑は、左手に剣を握り、右手に長い兵器を持ち、腹を膨らせ首を挙げ、勇壮な性格を表した。一旦、敵に遇うと、先を争って敵を戦う勇士だ。

秦の俑の服装

すべて細い袖の短い服だ。特に騎兵俑は、腰までの短い服と鎧を纏い、すね当てを付け、軽い皮靴を履く。完全に実戦の要求に応じる服装で、騎馬や射撃に便利だった。戦国時期、軍隊の服装に著しい改革を行ったことが垣見られる。

古代の服装は殆ど袖が長く、腰と裾幅がゆったりとした様式で、行動し難かった。これは新興した封建主の向上精神に相応しくなかった。時代の変化と軍隊作戦の発展につれて、軍服の改革は必然となった。初めて改革を行ったのは、趙の武靈王であった。趙国の北に燕国、東に東胡、西に林胡、楼煩、秦国、南に韓国、中に中山国があった。趙国は若し強くなければ、周辺の列強に滅亡されると武靈王は心配した。しかしながら、趙国は不況に見舞われていた。人々は、長い袖、広い襟、ゆとりのある腰と裾幅の長服を纏い、行動する時、ごつごつとし、戦う時円滑でない戦車にしか頼らなかつた。胡人はぴったりと体に締め付けた短い服を纏い、騎馬や射撃にもすばしく、作戦力が強い。それで、まず胡人の着服を学び、更に胡人の騎馬、射撃を学ぶ武靈王の「胡服騎射」の主張は、大多数の貴族に反対された。服は寒さに備えるためだけではなく、礼制と等級を表すこともあり、聖人が創った様式で、絶対変らないと。そして、中原文明は胡人を同化させるだけで、まさか異族の影響を受けることはない、彼らは反撥した。秦の俑の服装は、ゆとりとした長服はすでに体にぴったりする服につた。秦の俑の服装は、他国の長さを学び、国勢を強化する新思想が



武士俑

勝ち取った結果であった。

秦の車馬俑

つまり4匹の馬に牽かれる戦車。馬の首がまっすぐにもたげて、嘶く状を呈する。両耳間の鬣は外に反り巻き、尻尾が辮に結ぶ。馬の首にはおもがいがあり、首に銅製の首輪をつけている。



乗馬のおもがい

乗馬

騎兵の鞍馬。4匹で1組になる。馬の高さは1.72mで、長さは2.03m。馬の背中に鞍の彫刻が施し、皮制鞍の表面に釘が満遍なく分布し、赤、白、赭、紺の4色に染めた。鞍の下に下敷があり、周りに嬰絡があり、2本の腹帯で下敷を固める。馬腹の左側に鎖がある。馬の尻がいもある。鞍の形は現在の鞍と殆ど同じだが、馬の鎧がない。

乗馬の轡

轡ははみと頬革、頭絡の総称だ。方形と円形の石飾りを括った2本の銅糸は馬の頭と頬革に繋ぐ。銅製の轡の一端に銅環があり、騎兵は手をとる所。頭絡の中間に2本の銅糸で方形や円形の石飾りを括る。銅糸は石飾りの間に鎖状になるから、頭絡が自由に動ける。車馬俑にしろ、乗馬俑にしろ、いずれも実物大に作られた。陶製の馬俑は、今の甘肅省の河曲馬と似ている。この種の馬は体型が大きなく、足が短く、長距離の走行に長けないが、坂を登ることが長ける。それで、秦の軍隊によく使われる良種馬となり、しかも常備馬として訓練された。

駿馬の俑

秦の武士俑と匹敵できる素晴らしい陶製駿馬俑。体型が大きく太る馬俑は、耳が小さく、目が大きく、口が大きい。前足がまっすぐに立つが、後足が弓形に曲がっている。馬蹄の基礎が高く、筋肉が発達する。これらは、馬の走りが速く、力が大きく、耐久性が強い特徴を表した。首をもたげて両耳を上立たせ、鬣を両側に下し、口を開いて嘶き、蹄を叩いて飛ぼうとする駿馬は、澆刺とした龍馬精神に満ち溢れている。これらの駿馬は生き生きと真に迫る美感が溢れ、一旦走ると、疾風と稲妻のように空を飛んで行くようになる。在



餃子宴席



兵馬俑の複製品



工芸品のかずかず

りし日に名が馳せられる秦の始皇帝の七匹の駿馬は、すでに形も影も消えてしまった。しかし、人々は陶馬の造形から、始皇帝の7匹駿馬の威風りんりんとした英姿を想像できる。

秦俑の芸術

秦俑の彫塑芸術は、質に重んじ装飾性に乏しく、創作手法が緻密である。人々はその制作技法の円熟さに賛嘆せざるを得ない。写実を基礎とした秦俑は、多方面の爛熟した技法を示し、前代に比べて質的な飛躍を遂げた。素朴から洗練に発展された技法は、完璧なレベルに達した。群像と個体、共通性と個性、外面表情と内面精神との関係を上手く取り扱い、全方位、多次元の美を創り上げた。各種の兵隊の布陣は、厳肅かつ雄大な共通性を表したが、群像に千変万化の俑の個性を融合した。俑の体型、姿勢、表情、容貌ではそれぞれ個性を持ち、少しも雷同はない。形状のデザインにしろ、具体的な芸術内容及び表現形式と彫塑技法にしろ、空前のレベルに達し、中国古代彫塑芸術において、活発で奔放な写実主義の先駆となり、殷・周時期の神秘で、停滞して活発しない装飾的圖案芸術の桎梏と影響から抜き出し、漢・唐時期彫刻芸術の発展に堅い基礎を定めた。

青銅の車馬

1980年12月に、秦の始皇帝陵墓の西側の車馬坑に、2両の彩色絵画を施した銅製の車馬を発見した。2年間あまりの修復を経て、完璧な形で秦俑博物館に陳列され、一般に公開されている。青銅車馬は今まで、中国では発見した最も年代が早く、体型が最も大きく、構造が最も複雑で、青銅で鑄造された車馬であり、世に並ぶものがない古代青銅器の逸品である。車馬の大きさは、実物の半分相当し、形が完成で、

操縦道具は揃い、製造工芸は精緻を極める。うちの2号車馬は全長3.28m、高さ1.04m。馬の体には白い色が塗られ、しかも彩りの絵が描かれた。車前に立つ御者俑は、白い襟の彩色の服を着、生き生きと真に迫る。銅製車にある円形蓋と四方形の車底との配合は、十分に相応しい。この車馬の部品は3400点に達し、うち金製の部品は700点あまり、銅製の部品は800点あまり、計3900カ所の接続点があり、工芸は極めて複雑である。完成した銅製車馬は、中国古代工芸美術の高峰に達した。

フェスティバル

シルクロード国際観光祭

時間: 毎年9月

内容: 西安市で行われる大型の花火会、ミュージカルショー、民間銅鑼と鼓のショー、伝統文化展覧など

西安城壁国際マラソン友誼試合

時間: 毎年11月の始めての日曜日

内容: 西安の古い城壁で行う男子・女子5km、10km、ハーフマラソン(21.0975km)マラソン試合



古典舞踊

レストラン

西安は世界に名が馳せられる歴史文化名城であり、飲食文化の伝統が古い。すでに唐代料理を120種回復し、新品料理を百種あまり開発し、唐代料理を主とする伝統料理と陝西料理と主とする現代料理を形成した。

伝統的名物料理: 焼き豚、葫蘆鷄(チキン料理)、魚のミルク煮
新品料理: 西安餃子宴席、長安八景宴席など

風味軽食: 羊肉泡饅館、樊記臘肉汁、灌湯包子、牛羊肉泡饅など

主要レストラン: 西安飯荘、五一飯店、西北美食買物広場、文豪雜糧食府、西安烤鴨店、小貝殼酒樓、賈三灌湯包子館、老孫家牛羊肉泡饅館、秦朝瓦罐飯荘

主要レストラン

店名	住所	電話局番(86-029)
西安飯荘	西安市東大街	87273821
五一飯店	西安市東大街351号	87215932
西北美食購物広場	西安市臨潼秦陵北路中段	83821338
文豪雜糧食府	西安市體育場南側南二環路口	85222222
賈三灌湯包子館	西安市西羊市西段191号	87279114
老孫家牛羊肉泡饅館	西安市東大街364号	87214438
秦朝瓦罐飯店	西安市金花北路6号	88496888
德發長餃子館	西安市西大街3号鐘樓広場	87214065

ショッピング

工芸品: 景泰藍(七宝焼)、藍田玉彫刻、榆林絨毯、耀州磁器、西安刺繡、嵐皋藤編物など。

土産品: 西鳳酒、西安稠酒(濁り酒)、秦椒(唐辛子)、周至西瓜、臨潼ザクロ、臨潼火晶カキ、秦冠リンゴ、徳懋恭水餅、中華キウイ、陝西クリなど。

西安唐三彩模倣品: 地元の古墓から出土した唐代三彩磁器を模倣して作った工芸品。作品の造型が生き生きと真に迫る上、色も鮮やかだ。うち、陶俑、ウマ、ラクダ、器などは100種類余りに上った。

秦の兵馬俑の複製品: 陝西省の人気観光品。



主要買物商店: 文宝齋、景泰藍、鳳凰刺繡工場、西安市玉石彫刻工場、西安市美術陶磁器工場、唐城百貨大廈、世紀金花、秋林公司、民生百貨株式有限公司

ショッピング場所

店名	住所	電話局番(86-029)
文宝齋	西安市雁塔路中段5号	兵馬俑複製品など 85532380
鳳凰刺繡廠	西安市東二路33号	刺繡品、絨毯 87271473
特殊工芸美術總廠	西安市環城西路北段210号	漆器、家具など 88623128
唐城百貨大廈	西安市東大街359号	服装、百貨 87284350
世紀金花	西安市鐘鼓樓広場	服装、百貨 87212166
秋林公司	西安市雁塔路北段58号	服装、百貨 87854400
西安古玩城	西安市朱雀大街6号	骨董品 85253695
陝西文物商店	西安市南大街129号文物大廈	文物 87213691

主要娯楽場所

名称	住所	電話局番(86-029)
西安康宮	西安市長安北路75号	85261633
龍宮水上世界	西安市解放路39号	87447311
西部休閒娛樂總匯	西安昆明路228号	84205088
長樂芸術	西安市太陽廟門4号	87296558

主要涉外ホテル

店名	クラス	住所	電話局番(86-029)
ハイヤット(阿房宮)飯店	★★★★	西安市東大街158号	87231234
長安城堡大酒店	★★★★	西安市環城南路西段12号	87231800
シャングリラ金花飯店	★★★★	西安市長安西路8号	83232981
シェールデン大酒店	★★★★	西安市西郊外蟻鏡路17号	84261888
古都新世界大酒店	★★★★	西安市蓮湖路48号	87216868
西安建国飯店	★★★★	西安市金花南路8号	84238888
西安驪苑酒店	★★★★	西安市労働南路8号	84363888
唐華賓館	★★★★	西安市大雁塔東側雁引路40号	85261111
西安唐城賓館	★★★★	西安市含光路南段229号	82265711

主要観光会社

会社名	住所	電話局番(86-029)
陝西海外旅行社	西安市長安路北段15号	85261452
西安中国国際旅行社集團	西安市長安路北段32号	85262066
西安海外旅遊總公司	西安市朱雀大街72号副1号	85259759
陝西中国旅行社	西安市興慶路45号	86699888
陝西中国青年旅行社	西安市含光北路57号	85256415
中国康輝西安旅行社	西安市含光路吉祥大廈内	85220485
西安中国国際旅行社	西安市長安路北段63号	85269464
西安和平国際旅遊公司	西安市建国路甲字118号6楼	87418432
陝西文物国際旅行社	西安市興善寺東街12号	85269483

全国統一の特殊サービス電話

中国国際電話の預番号: 0086 西安市電話局番: 021 警察通報先: 110
交通事故通報先: 122 電話番号案内: 114 国内長距離電話予約: 113
国際電話予約: 115 火事通報先: 119 救急センター: 120 天気予報: 12121

中国国家観光局(東京)

東京都港区虎ノ門2-5-2 エアチャイナビル8F
郵便番号: 105-0001
電話: 03-3591-8686
ファックス: 03-3591-6886

中国国家観光局大阪事務所

大阪市浪速区湊町1-4-10CATビル4F
郵便番号: 556-0017
電話: 06-6635-3280
ファックス: 06-6635-3281

中華人民共和国国家観光局

アドレス: 北京建国門内大街甲9号
電話: 0086-10-65201514
ファックス: 0086-10-65137871
ホームページ: <http://www.cnta.gov.cn>

中國
旅游

秦の始皇帝兵馬俑



ご覧いただきありがとうございます！

